

2024年4月8日

報道関係者各位

三井不動産株式会社
株式会社 MIXI

千葉ジェッツのホームアリーナとなる大型多目的アリーナ 「LaLa arena TOKYO-BAY」4月17日竣工

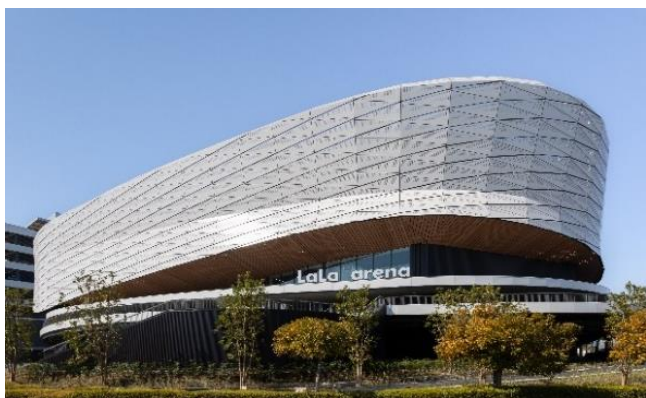
5月29日 開業を記念したお披露目イベント実施

7月6日・7日 こけら落とし公演「Mr.Children tour 2024 miss you arena tour」を開催

本リリースのポイント

- ・ 収容客数1万人規模の大型多目的アリーナ「LaLa arena TOKYO-BAY」が、2024年4月17日竣工
- ・ スポーツ・エンターテインメントの力を活用した街づくりを推進する三井不動産グループの想いと、スポーツを通じて豊かなコミュニケーションの実現を目指す MIXI の想いにより実現
- ・ B.LEAGUE「千葉ジェッツ」が2024-25シーズンよりホームアリーナとして利用
- ・ 2024年5月29日に、千葉ジェッツの選手などが出演するお披露目イベントを実施
- ・ 2024年7月6日・7日の2日間、こけら落としとなる「Mr.Children tour 2024 miss you arena tour」公演を開催

三井不動産株式会社(所在:東京都中央区、代表取締役社長:植田俊、以下「三井不動産」)と株式会社 MIXI(所在:東京都渋谷区、代表取締役社長:木村弘毅、以下「MIXI」)は、今般、千葉県船橋市において収容客数1万人規模の大型多目的アリーナ「LaLa arena TOKYO-BAY(ららアリーナ 東京ベイ)」が、4月17日(水)に竣工し、5月29日(水)にお披露目イベント、7月6日(土)・7日(日)にこけら落としとなる「Mr.Children tour 2024 miss you arena tour」を開催することをお知らせします。



「LaLa arena TOKYO-BAY」 外観



こけら落とし公演「Mr.Children tour 2024 miss you arena tour」



バスケットボール試合開催時 CG



音楽コンサート開催時 CG

▶三井不動産

三井不動産は、これまでスポーツ・エンターテインメントの力を活用した「感動」のある街づくりを推進してきました。さらに、これまで商業施設の開発・営業・運営を担ってきた「商業施設本部」を 2024 年 4 月 1 日付で「商業施設・スポーツ・エンターテインメント本部」に改称し、事業領域に LaLa arena TOKYO-BAY、東京ドームが新たに加わることとなりました。2024 年度は、商業施設とスポーツ・エンターテインメントが持つ楽しさや魅力を掛け合わせ、新たな価値を生み出していくスタートの年となります。

南船橋エリアにおいては、40 年以上にわたり「三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY」をはじめとした商業施設や屋内型スケートリンク、住宅、物流施設などさまざまな事業を通じ、ミクストユースの街づくりを進めてまいりました。本アリーナの誕生を機に、南船橋エリアにおいてもスポーツ・エンターテインメントの力を活用し、さまざまなイベントによる非日常の感動体験と、イベント前後のお買い物やお食事などを一日中楽しんでいただくための環境の提供に努めてまいります。

また、「LaLa arena TOKYO-BAY」で開催されるイベントと、「ららぽーと TOKYO-BAY」などの商業施設や三井ショッピングパーク公式通販サイト「Mitsui Shopping Park & mall(アンドモール)」と連携した様々な取り組みも行い、お客さまの体験価値の最大化に取り組んでまいります。

▶MIXI

MIXI は創業以来、友人や家族といった親しい人と一緒に楽しむコミュニケーションサービスを提供しており、現在は主にスポーツ、ライフスタイル、デジタルエンターテインメントの 3 つの領域で事業を推進しています。

本アリーナ事業が含まれるスポーツ領域においては、公営競技事業(車券販売のプラットフォームサービスの提供等)や観戦事業(プロスポーツチーム「千葉ジェッツ」「FC 東京」の経営等)を展開しており、本アリーナは、「千葉ジェッツ」がホームアリーナとして利用します。

MIXI にとってスポーツとは、創業以来大切にしてきた豊かなコミュニケーションを創出するコンテンツの一つであると考えており、MIXI が強みとしてきたテクノロジーを駆使することでスポーツを身近に体験できる環境を整備し、熱く盛り上げられる世界をつくることを目指しています。アリーナ施設の運営は、MIXI にとって新たな挑戦となりますが、事業ドメインとなるコミュニケーションを軸に、本アリーナをお客さま同士のコミュニティが生まれる空間、これまでなかった観戦体験を提供する場として提供していきます。

本アリーナ事業を通して、MIXI が掲げる「豊かなコミュニケーションを広げ、世界を幸せな驚きで包む。」というパーパスと「『心もつながる』場と機会の創造」というミッションを実現してまいります。

「LaLa arena TOKYO-BAY」の施設概要

本アリーナは、地上 4 階建・延床面積約 31,000 m²、収容客数 1 万人の大型多目的アリーナです。昇降可能なセンタービジョンやアリーナ内を囲むリボンビジョンを常設し、多様な演出が可能です。

▶外観デザイン、内観デザイン

ららぽーとのポート(港)と千葉ジェッツのチーム名由来でもあるジェット機をデザインリソースとし、躍動感を感じさせるデザインとしました。外観デザインは、船の航跡とジェット気流をイメージした有孔アルミパネルで躍動感を演出しています。アリーナ空間は音楽コンサートやプロバスケットボールゲーム等の演者や選手と客席の距離が近く感じられることを目指し、すり鉢型のボウルデザインを採用しました。



外観



アリーナ空間

▶VIP エリア

VIP 専用のエントランスからスムーズに入退場いただけるほか、食事を楽しみながら観戦・鑑賞も可能な「VIP ROOM」「VIP BOX」、大人数で楽しめるスタンド席「Balcony」、イベントの前後も楽しんでいただけるラウンジ空間「VIP LOUNGE」「BOOSTER SQUARE」を3階に設けています。



VIP ROOM(11 部屋)
室内からアリーナ面が一望できる
高級感のある部屋



VIP BOX(8 部屋)
アリーナ側を向いて熱気を感じながら
食事ができる部屋



Balcony(1 か所)
アリーナ面と一体の空間で臨場感を
味わうことができる部屋



VIP LOUNGE(1 か所)
バーカウンター、テーブル、椅子を常設し
イベントの前後も楽しんでいただける空間



BOOSTER SQUARE(1 か所)
原寸大のバスケットコートがペイントされた、
ファン同士が集いさまざまな出会いや交流を生み出す空間
※開催イベントによっては、VIP エリア利用者以外のお客さまも利用可能

▶フード&ビバレッジ(飲食)

2階に合計4か所のフード&ビバレッジを設け、観戦・鑑賞時に楽しんでいただける飲食メニューをご提供します。開催イベントによってはコラボメニューの販売を予定しています。

※開催イベントによっては営業しない場合もあります。



飲食メニュー イメージ

▶センタービジョン・リボンビジョン

昇降可能な約423インチのセンタービジョンと、アリーナ内を囲むように全長約120mのリボンビジョン(1か所あたりの長さ約40m)を常設しており、多様な演出が可能です。



センタービジョン・リボンビジョン

▶ 千葉ジェッツのホームロッカー

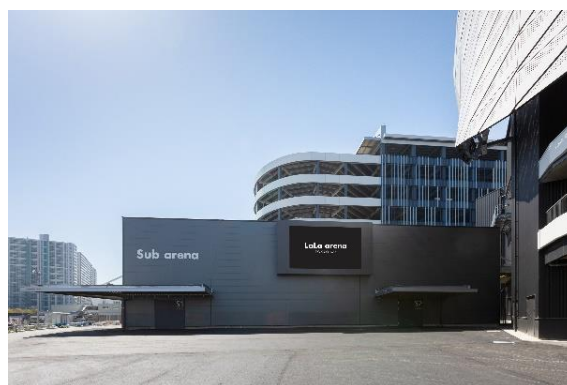
本アリーナは千葉ジェッツのホームロッカーを備えています。床面や天井面に千葉ジェッツのロゴがあしらわれ、千葉ジェッツのホームアリーナならではの仕様となっております。



千葉ジェッツのホームロッカー

▶ サブアリーナ

メインアリーナに隣接する形で、約 720 m²のサブアリーナも設置しています。バスケットボールやバレーボール等の練習場や、イベント当日の物販会場として利用できます。



サブアリーナ

▶ 壁面アート

音楽イベントのワクワク感、スポーツイベントの熱狂や興奮をキーワードに、2階コンコース2か所に壁面にアートを掲出いたします。本アートは株式会社ヘラルボニーにご協力いただきました。

<株式会社ヘラルボニー 会社概要>

ヘラルボニーは、「異彩を、放て。」をミッションに掲げる福祉実験カンパニーです。国内外の主に知的障害のある作家の描く2,000点以上のアートデータのライセンスを管理し、さまざまなビジネスへ展開しています。支援ではなく対等なビジネスパートナーとして、作家の意思を尊重しながらプロジェクトを進行し、正当なロイヤリティを支払う仕組みを構築しています。

<https://www.herabony.jp/>

ヘラルボニー

▶ 環境配慮型のアリーナ

本アリーナは、サステナブル社会の実現に向けて、環境に関する各種外部認証を取得するなど環境負荷低減の施策に取り組んでいます。

施設の設計一次エネルギー消費量を30%以上削減し、BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)に基づく評価にて、「ZEB Oriented」認証を取得しました。



▶ **本アリーナは、2024-25 シーズンより千葉ジェッツがホームアリーナとして利用します**

千葉ジェッツは、2017 年より MIXI とパートナーシップ契約を締結し、2019 年からはグループ会社としてともに歩んできた、B.LEAGUE 1 部所属のプロバスケットボールチームです。2024-25 シーズンより本アリーナをホームアリーナとして利用します。

千葉ジェッツは、2016 年の B.LEAGUE 開幕から 4 シーズン連続で観客動員数 1 位となり、成績面でも天皇杯では 2017 年からの 3 連覇、昨年から 2 連覇の合計 5 回優勝。リーグ戦でも B.LEAGUE FINALS 2020-21 にて初制覇を達成したほか、昨シーズンは 24 連勝や最高勝率(88.3% 53 勝 7 敗)といった B1 リーグ記録を更新しました。さらに、日本のチームとして初めて、東アジアスーパーリーグ「EASL 2023-24 シーズン」を制覇するなど、強豪クラブとして成長を続けています。

その一方で、千葉ジェッツ主催試合での観客動員数は増加し、多くの観戦希望者がチケットを購入できないなど、観戦環境の整備に課題がありました。本アリーナは現在利用している船橋アリーナと比べ収容客数が約 2 倍となり、より多くのお客さまに千葉ジェッツの試合観戦をお楽しみいただくことができます。

本アリーナは千葉ジェッツとともに、スポーツ観戦のカルチャー促進に寄与し、ご来場されるお客さまおよびイベント主催者の皆さまに寄り添った会場計画を意識した、何度も利用したくなるような場と空間を提供いたします。様々な人や世代と広くつながり、「観る」場所だけではなく「過ごす」場所としての体験価値を創出してまいります。



▶ **「B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2025」開催決定**

昨年 2023 年 7 月、本アリーナが「B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2025」^(※)の開催地に決定したことが発表されました。全国の B.LEAGUE スター選手が集結する、「B.LEAGUE ALL-STAR GAME」。全国から集まるバスケットボールファンの皆さまに、本アリーナの最新の設備やおもてなしで夢の祭典を提供します。2025 年の「B.LEAGUE ALL-STAR GAME」を通して、本アリーナはもちろん、周辺地域、船橋市の良さを感じていただける、史上最高のオールスターゲームを目指します。

※:B.LEAGUE が主催するオールスターゲーム。全国のチーム所在地を巡回しながら開催されています。



©CHIBAJETS FUNABASHI

【ジョン・パトリック ヘッドコーチ コメント】

LaLa arena TOKYO-BAY が出来ることは、日本のバスケットや千葉ジェッツにとって新しいスタートになるでしょうし、とても大きなイベントだと思います。船橋アリーナの倍以上のお客さんが入りますし、最新のテクノロジーなど環境面もより整っていると思うので皆楽しみにしています。



©CHIBAJETS FUNABASHI

【富樫 勇樹 選手 コメント】

新アリーナが完成することで、B.LEAGUE がさらに盛り上がっていくと思うのでワクワクしています。ここで B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2025 が開催されることも決まっていますし、より多くの方にバスケットボールを楽しんでもらえる場所になってくれたらと思います。

こけら落としとなる「Mr.Children tour 2024 miss you arena tour」公演の開催

本アリーナのこけら落とし公演として、2024年7月6日・7日の2日間、Mr.Childrenによる「Mr.Children tour 2024 miss you arena tour」の最初の2公演が開催されます。

【DATE】

7月6日(土) OPEN 16:00 / START 17:00

7月7日(日) OPEN 15:00 / START 16:00



【ホームページ】

<https://tour.mrchildren.jp>

LaLa arena TOKYO-BAY の運営会社および公演情報(ホームページ)

「LaLa arena TOKYO-BAY」の運営・管理は、株式会社 MIXI および三井不動産株式会社が出資し設立した株式会社 TOKYO-BAY アリーナマネジメントが担います。両社がこれまで培ってきた街づくりやスポーツ・エンターテインメントを通じたコミュニケーションの提供の経験を活かし、本アリーナの運営・管理を行ってまいります。

株式会社 TOKYO-BAY アリーナマネジメント

設立	2021年12月24日
代表者	代表取締役社長 吉本 洋秀
所在地	東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号渋谷スクランブルスクエア

LaLa arena TOKYO-BAY の公式ホームページを開設いたしました(URL: <https://lalaarenatokyo-bay.com/>)。公演情報やフロアマップなどのコンテンツを掲載し、新着情報も順次公開してまいります。



<4月8日時点の公開済情報> ※詳細は公式ホームページをご覧ください。

日程	公演
2024年7月6・7日	Mr.Children「Mr.Children tour 2024 miss you arena tour」
7月20・21日	THE RAMPAGE「THE RAMPAGE LIVE TOUR 2024 “CyberHelix” RX-16」
7月27・28日	「真夏の氷上祭典 THE ICE 2024」
8月17・18日	KARA「KARA THE 5th JAPAN TOUR 2024 “KARASIA”」
8月24・25日	RYUJI IMAICHI「RYUJI IMAICHI LIVE TOUR 2024 “R”ED」
9月21・22・23日	「ディズニー・オン・アイス“Find Your Gift”」
9月28・29日	あいみょん「AIMYON TOUR 2024-25 “ドルフィン・アパート”」
11月2・3日	水瀬いのり「Inori Minase LIVE TOUR 2024」

2024年5月29日 お披露目イベント開催

日時：2024年5月29日(水) 午後(予定)

場所：LaLa arena TOKYO-BAY

本アリーナの開業を記念し、テープカットセレモニーや、特別ゲストを招いてのトークショー、千葉ジェッツの選手が参加するお披露目イベントを開催します。三井ショッピングパークポイント会員さまなど、計約 1,000 名のお客さまをお招きして開催する予定です。詳細については、2024年4月中を目途に以下のホームページでお知らせします。

※ ゲストの詳細や参加方法については、ホームページでのお知らせ前にお問い合わせをいただいても回答いたしかねますので、下記ホームページおよび千葉ジェッツへの個別のお問い合わせはご遠慮いただけますと幸いです。

- ① Lala arena TOKYO-BAY
<https://lalaarenatokyo-bay.com/>
- ② 三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY
<https://mitsui-shopping-park.com/lalaport/tokyo-bay/>
- ③ 三井ショッピングパーク ららテラス TOKYO-BAY
<https://mitsui-shopping-park.com/lalat-tokyobay/>

<添付資料①> 会社概要

三井不動産株式会社

設立	1941年7月15日
代表者	代表取締役社長 植田 俊
所在地	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号
公式ホームページ	https://www.mitsui-fudosan.co.jp/

株式会社 MIXI

設立	1999年6月3日
代表者	代表取締役社長 木村 弘毅
所在地	東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号 渋谷スクランブルスクエア 36F
公式ホームページ	https://mixi.co.jp/

<添付資料②> 計画概要

所在地	千葉県船橋市浜町2丁目5番15号
施設名称	LaLa arena TOKYO-BAY (ららアリーナ 東京ベイ)
敷地面積	約 20,000 m ² (約 6,050 坪)
構造規模	鉄骨造・地上 4 階建
延床面積	約 31,000 m ² (約 9,300 坪)
収容客数	約 11,000 人(アリーナ面に座席を配置した場合)
交通	JR 京葉線・武蔵野線「南船橋」駅 徒歩約 6 分
設計・施工会社	清水建設株式会社
外装コンセプトデザイン	HKS
ランドスケープデザイン	SWA Group
運営・管理	株式会社 TOKYO-BAY アリーナマネジメント
公式ホームページ	https://lalaarenatokyo-bay.com/

<添付資料③> 位置図

【広域図】



【狭域図】



＜添付資料④＞ 三井不動産 「スポーツの力」を活用した街づくり

三井不動産は、2016 年から「BE THE CHANGE」というスローガンを掲げ、スポーツの要素を盛り込んださまざまな街づくりを手掛けてまいりました。

ボルダリングウォールやスケート場などを備えた「MIYASHITA PARK」、200m 陸上トラックなどを含むスポーツパークを有する「三井ショッピングパーク ららぽーと福岡」、本格的なスポーツ・エンターテインメントイベントが実施可能な屋内型スタジアムコートを有する「三井ショッピングパーク ららぽーと堺」や「東京ドームシティ」などの『場』を整えるとともに、子どもたちがアスリートの 1DAY のレッスンを受けられる「三井不動産スポーツアカデミー」などのイベント実施をはじめとした『コミュニティ』づくりを進めており、その取り組みを加速しています。



MIYASHITA PARK
(東京都渋谷区)



三井ショッピングパーク ららぽーと福岡
(福岡県福岡市)



三井ショッピングパーク ららぽーと堺
(大阪府堺市)



東京ドームシティ
(東京都文京区)



三井不動産スポーツアカデミー
(バスケットボールアカデミー)



三井不動産スポーツアカデミー
(アイススケートアカデミー)

＜添付資料⑤＞ 三井不動産 南船橋エリアにおけるミクストユースの街づくり

三井不動産は、南船橋エリアにおいて、40 年以上にわたり、「三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY」をはじめとした商業施設や屋内型スケートリンク、住宅、物流施設などさまざまな事業を通じ、ミクストユースの街づくりを進めてまいりました。地域連携の取り組みも推進しており、「三井ショッピングパーク ららテラス TOKYO-BAY」を拠点とした臨海部のエリアマネジメント活動や、船橋競馬場などの地元施設と協業したイベントの開催などにより、地域の賑わい創出にも取り組んでおり、LaLa arena TOKYO-BAY の誕生を機に、さらにエリア全体の魅力を高めてまいります。



ららぽーと TOKYO-BAY



LaLa arena TOKYO-BAY



MFLP 船橋 I



アイスパーク船橋



ペット南船橋



ららテラス TOKYO-BAY



分譲住宅

※なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における2つの目標に貢献しています。

目標 11 住み続けられるまちづくりを
目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう

